

静止気象衛星に関する懇談会の今後の進め方について（案）

第 1 回（平成 20 年 1 月 29 日）

- ・ 静止気象衛星の現状と今後の展望
- ・ 今後の静止気象衛星の整備・運用に向けた課題

第 2 回（平成 20 年 2 ～ 3 月）

第 3 回（平成 20 年 4 ～ 5 月）

以下の各検討課題に関して、民間からのヒアリング等を行い、次期衛星で実現可能な方策を検討

（1）気象観測ミッションと他のミッションの相乗りの可能性

国内の宇宙利用の状況の調査、今後の宇宙開発の技術動向に関する宇宙航空研究開発機構（JAXA）からのヒアリング等をもとに、静止気象衛星との相乗りミッションの可能性について討議

（2）次期衛星の観測機能の民間を含めた新たな分野への利用の可能性

次期衛星の観測機能の利用に関して、民間（衛星資料利用者）からのヒアリングを行い、新たな分野での利用の可能性について討議

（3）次期衛星の整備・運用における民間活力の活用の可能性

静止衛星の整備・運用に関する民間部門の技術力等について、民間（衛星事業者）からのヒアリングを行い、民間活力の活用の方策について討議

第 4 回（平成 20 年夏頃）

第 2 回、第 3 回懇談会の検討結果をもとに、次期衛星の整備・運用のあり方について総合的に検討

第 5 回（平成 20 年 11 ～ 12 月）

国内の宇宙開発・利用の動向等を踏まえ、静止気象衛星の整備・運用のあり方に関する検討結果を取りまとめ